

じゃっとじゃっと

つよく あかるく なかよく

苓北支援学校 人権教育ニュース

第2号
平成30年12月19日発行

児童生徒の取組(12月3日実施)

なかよし集会

12月10日は世界人権宣言が採択された日であり、世界人権デーとされています。本校ではこの時期に合わせて、「なかよし集会」として全校児童生徒で人権に関する学習活動を行い、友達の大切さを学びました。今回は児童生徒同士のかかわりを深め、お互いのよいところに気づくことをねらいとして、2人1組での「風船運びゲーム」を行いました。ペアの友達とあいさつをし、協力して風船を運ぶことで、友達に視線を向けたり笑顔になったりしてお互いを意識する様子が見られました。活動後には、担当の教師と一緒に、「いいところカード」を記入し、「みんなの木」のコーナーに貼りに行きました(右下の写真参照)。「いいところカード」を書いていく中で、友達に声をかけたり視線を向けたりという関わりが増えました。また書いてもらったカードを見ることで、自分のいいところを知って嬉しそうにする様子も見られました。活動を通して、お互いを思いやる気持ちを持つことができました。



菊池恵楓園訪問事業(8月18日)合志市

「菊池恵楓園で学ぶ旅」

熊本県では毎年、ハンセン病についての理解を深めることをねらいに「菊池恵楓園で学ぶ旅」が行われています。本校職員も参加しました。

恵楓園内の建物や展示資料についてボランティアガイドの説明を受けながら見学をしました。これまで、ハンセン病問題については、新聞やニュース等で知っていました。しかし、逃走防止の堀や厚い壁に隔てられた恵楓園の中から外を見た時、社会との一定の距離感を感じ、より現実的な問題として受け止めることができました。

入所者の方の話の中で、「人権とは『命』である」という言葉が印象的でした。ハンセン病によって、故郷や家族、社会と引き裂かれ、人権侵害を受けてきた人達にとっては、『命』をも奪われたに等しい苦しみがあったように感じました。菊池恵楓園は入所者数の減少と高齢化が進んでおり、10～20年後には現在の施設も大きく変わる可能性があるとのことでした。だからこそ、このハンセン病に関する人権問題を後世に伝えていくことは、私達県民の役割であり、ハンセン病問題に限らず、様々な人権問題について学び、正しく理解していきたいと思いました。

校内職員研修(10月30日実施)

第2回校内人権教育研修

本校では、人権を尊重した関わりをし、人権の大切さについて子どもたちに伝えていくために、定期的に職員研修を行っています。今回は同和問題に関する法令の確認とDVDを視聴しての、意見交換を行いました。たくさんの意見や感想が出され、自分たち自身の同和問題に対する知識や人権意識について見つめ直す有意義な研修になりました。

授業参観ウィーク

本校では、今年度初めての取組として、6月と10月の平日の一週間を「授業参観ウィーク」とし、いつでも授業参観していただけるようにしました。本校保護者のみなさん、町内の小学校や保育園の先生方、隣のはまゆう療育園の職員さんなどたくさんの参加があり、本校の教育や児童生徒の学習の様子について知っていただくことができました。今後も多くの方の御来校をお待ちしております。

PTA 人権教育研修会のお知らせ

日時：平成31年1月20日(日)

授業参観後 午前11時15分～午後0時15分

講師：辻川 章 様(第2はまゆう療育園相談支援専門員)

場所：高等部教室(学育棟2階)

御参加をお待ちしています。